



# ジェフリー通信 すずか

2025

12月



「ジェフリーすずか通信」はホームページでもご覧になれます。

<https://www.city.suzuka.lg.jp/danjo/>



いよいよ今月開催!!

## ジェフリーふえすた 2025

「らしさとは?」～自分の「らしさ」が〇〇を変える～

**12/13(土) 13:30～15:00(開場 13:00)**

基調講演【令和7年度SUZUKA女性活躍推進連携会議関連事業】

『シュフがデザインする笑顔のカタチ



～私たちらしい家族とは～』



ママの「大変!」とパパの「気づかなかった!」—  
自分たち“らしさ”を見つけると、家族みんなが心地よく過ごせる。  
そのヒントを、中村シュフさんの講演から一緒に見つけませんか?

**講師: 中村シュフさん(主夫芸人)**

講師紹介

1979年埼玉県生まれ。主夫・家政アドバイザー。  
大学で家政学を専攻し、家庭科・保健の教員免許を取得。  
卒業後はお笑い芸人となり「M-1 グランプリ 2006」で準決勝進出。  
結婚を機に家庭に入り、現在は3児のパパ。主夫業のかたわら、  
講演会講師などで活躍中。  
著書『主夫になってはじめてわかった主婦のこと』(猿江商會)他、雑誌  
「レタスクラブ」に2年間エッセイを掲載など。

＼お申込みはこちらの二次元コードから!／※一人2枚まで

ホール



会場定員: 先着 92 人(先着順)

研修室1AB



サテライト会場: 先着 48 人(先着順)  
(研修室1AB で中継)

イベント詳細については  
こちらをご覧ください



ジェフリーふえすた 2025 ウェブサイト

当日は親子で楽しみ、学べる企画が盛りだくさん! ぜひお越しください!!

## 事業報告

SUZUKA 女性活躍推進連携会議関連事業／女性活躍推進事業

# 在宅ワーク、はじめの一步！パソコン de 在宅ワーク入門講座

日時:令和 7 年 10 月 30 日(木)

13:30~16:00(2 回目)



10 月 30 日(木)に実施した第 2 回講座では、「受注できる経験やスキルを知る」「ロールモデル探し」など、自分の強みを見つけるワークを実施しました。

仕事を始めるに於ける Web マーケティング基礎知識なども学び、在宅ワークの可能性を具体的にイメージする時間となりました。

また、SNS 画像作成・チラシ作成・ライティング・データ集計の 4 つの在宅ワークを紹介され、各自興味がある在宅ワークを選び、実際に作業を行いました。

次回は、参加者の皆さんが選んで作業した在宅ワーク体験の作品を発表し、さらに良くするためのブラッシュアップを行います。



## 事業報告

# 男女共同参画の啓発活動を行いました！

9 月から 10 月にかけて、鈴鹿市内の一部高校の文化祭などにおいて啓発活動を行いました。また、この活動は男女共同参画意識がどれくらい浸透しているかのアンケート調査に加え、ジェフリースずかを知らないという方に向けて新たに知ってもらうきっかけづくりとしても、大変貴重な機会となりました。





# 「キャリア形成と育児等の両立を阻害する要因に関する調査」が公表されました

キャリア形成と育児等の両立は、仕事と家庭の両立を望む人々にとって大きな課題です。内閣府は、特に育児休業から復帰した男女を対象に、キャリア形成における意識調査を行いました。育児期における職場環境や制度の利用状況、評価への影響、将来のキャリア展望等を分析し、両立を阻害する実態を明らかにされています。調査結果は、男女が共にライフイベントとキャリアを両立できる環境づくりに向けたヒントが提供されています。以下、共同参画 11 月号から抜粋してご紹介します。

## 調査の概要

本調査は、キャリア形成と育児等の両立に関して意識調査を行ったものです。対象は、全国の 20～49 歳の男女で、育児休業の取得経験があり、小学生以下の子どもと同居している方々です。令和 7 年 1 月にインターネットによるアンケート調査を行い、2,853 件の回答を得ました。

## 育児取得前後のキャリアプランの変化

育児休業復帰後、35 歳以上の女性の約半数が「当初描いていたキャリアプランよりもキャリアをセーブすることになった・なりそう」と回答。一方、男性の約 8 割が「現在のキャリア／今後のキャリア展望は、ほぼ育児休業取得前に描いていたキャリアプランどおりである」または「当初描いていたキャリアプランよりもキャリアアップできた・できそう」と感じており、男女間でキャリアプランの継続性に大きな差が見られました（下記グラフ参照）。

## キャリアプランを変更せずに両立を行うための支援

両立支援に必要な要素として、男女ともに「柔軟な勤務制度・制度の利用のしやすさ」「上司の姿勢」「職場全体の雰囲気」が上位に挙げられました。特に男女差が大きいのは「柔軟な勤務制度・制度の利用しやすさ」や「配偶者・パートナーの育児への理解や参画」等であり、家庭内外の支援の重要性を強く感じていることが分かりました。

## 難易度の高い業務の経験

男女共に、育児休業取得前に、一般的に難易度が高いとされる業務経験を積んだ者は、こうした経験を積んでいない者に比べると、育児休業からの復帰後に「キャリアをセーブする」割合が低く、「現在のキャリア／今後のキャリアの展望がほぼプランどおりである」割合が高く、また、「仕事に対するモチベーション」も高い傾向にありました。女性は、育児休業取得前に、難易度の高い業務を経験している者の割合が男性と比べ低いことから、女性についても、若いうちから、難易度の高い仕事を経験する機会を増やしていくことが重要です。

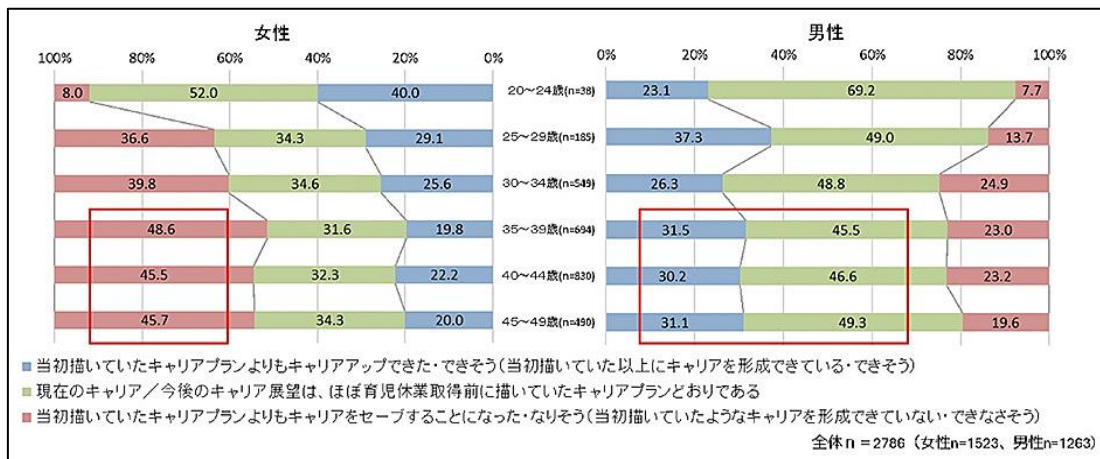
## 復帰後のモチベーションなど

育児休業取得前に将来のキャリアプランを立てていた者は、立てていなかった者に比べると、復帰後の「仕事に対するモチベーション」や「生活全体への満足度」が高い傾向にありました。若いうちからキャリア形成を考えていくことや、そうした取組を企業等が支援していくことが重要です。

## おわりに

育児との両立を目指す働き手を支援する制度と環境の整備が求められているなかで、本調査からは、育児期の働き手が直面する課題と、それを乗り越えるための支援のあり方が見えてきました。調査結果を、今後の職場環境の整備や支援策の検討のヒントとしていただければと思います。

グラフ「育児取得前後のキャリアプランの変化」↓



## おすすめ図書の紹介



今回ご紹介している図書の著者である中村シュフさんは 12/13 開催のジェフリーふえすた 2025 の基調講演にご登壇いただきます！  
まだまだ基調講演の申込み受付中です！ぜひご参加ください(\*^^\*)

【主夫になってはじめてわかった主婦のこと】(猿江商會) 著：中村シュフ

世の中には「100%シュフの人」もいなければ、逆に、「100%シュフじゃない人」もないんです。イクメン家事メンが当たり前の時代を生きる全夫婦必読。

【よかれと思ってやったのに男たちの「失敗学」入門】(晶文社) 著：清田隆之

恋バナ収集というちょっと変わった活動を行うユニット「桃山商事」の代表を務める著者が、これまで1200人以上の女性たちの失恋話や恋愛相談に耳を傾けるなかで気づいた、失望される男性に共通する傾向や問題点とは？女性たちの生の声を聞いてみると、男女でこんなにも違う景色が見えているのか、ということが浮かび上がってくる。ジェンダー観のアップデートが求められる現代を生きる、すべての人たちに贈る、より良い関係を築くための「心の身だしなみ」読本。



## 女性のための電話相談

12月 November 2025

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	○：相談日		

**059-381-3118 (直通)**



相談日：毎週火・木・金曜日

(第4金曜日・休館日を除く)

時間 10:00~12:00 (午前)

13:00~16:00 (午後)

- ・女性の相談員が対応します。
- ・相談は無料です。
- ・相談内容などの秘密は厳守します。
- ・必要に応じ、面接相談、市役所担当課等をご案内します。
- ・話し中の場合は、時間をおいておかけ直してください。

※12/28~1/3 は年末年始の休館日のため、女性のための電話相談もお休みとなります。

鈴鹿市男女共同参画センター  
(愛称：ジェフリーすずか)

〒513-0801

三重県鈴鹿市神戸二丁目15番18号

(かんべ再開発ビル3階)

TEL059-381-3113 FAX059-381-3119

E-mail danjokyodosankaku@city.suzuka.lg.jp

ジェフリーすずか

検索

